



福島県立

ふたば未来学園高等学校

未来創造探究 生徒研究発表会2018 御案内

ふたば未来学園の生徒たちは、1年次にはフィールドワークで地域の課題を見つけて演劇で表現し、2年次から3年次にかけては、本校独自の授業「未来創造探究」で地域の住民の方々や行政などとも連携しながら、地域復興に向けた探究と実践を行ってきました。

「未来創造探究」では、地域復興に向けたイベントを開催したり、新たな再生可能エネルギーによる町づくりを模索したり、震災前の地域の特産物を復活させるなど、様々な実践が生まれました。

この3年間の取り組みの集大成となる発表会を開催いたします。多くの方のご参観をお待ちしております。

日程

2018年9月19日（水）

会場

福島県立ふたば未来学園高等学校
（広野町大字下浅見川字築地12）

参観申込み

不要

（当日直接会場へお越しください）

プログラム

| | | |
|---------------------|---------------------|--|
| 9:45 ～ 10:40 | 分科会 (各教室) | 6つの探究班（ゼミ）で各教室に分かれて、取り組んできた実践の詳細について発表を行います。 ・09:45～10:00 発表1 ・10:05～10:20 発表2 ・10:25～10:40 発表3 |
| 11:00 ～ 12:20 | 全体会 第一部 (体育館) | 6つの探究班の代表者が、地域の皆様に向けて発表を行います。 (第一部) |
| 昼食 | | ・メディア・コミュニケーション探究班 ・健康と福祉探究班 |
| 13:15 ～ 14:35 | 全体会 第二部 (体育館) | ・アグリ・ビジネス探究班 (第二部) ・原子力防災探究班 ・スポーツと健康探究班 ・再生可能エネルギー探究班 |
| 14:35 ～ 15:35 | 総評 基調講演 | 地域代表、行政代表の方から総評を頂き、鈴木寛 東京大学・慶應大学教授（文部科学大臣補佐官）より基調講演を頂きます。 |

お問い合わせ

担当・教頭

電話：0246-23-6825

メール：assist.futabamiraigakuen-h@fcs.ed.jp

「未来創造探究」とは

「未来創造探究」は、ふたば未来学園のカリキュラム全体の核となる授業です。生徒たち自身が福島・双葉郡の復興を後押しし、持続可能な地域を創造していくことを目指して、2年生～3年生までの2年間にわたって地域で様々なプロジェクトを実践しています。

生徒たちは6つのテーマに分かれて、地域・企業・関係団体、大学・国際機関と連携し、グローバルな課題である「原子力災害からの復興」をテーマの中心に据え、その原因、背景、過程について探究しつつ、地域再生の実践を行っています。

| 原子力防災探究 | メディア・コミュニケーション探究 | 再生可能エネルギー探究 | アグリ・ビジネス探究 | スポーツと健康探究 | 福祉と健康探究 |
|------------------------------------|---|--|-----------------------------|------------------------------|---|
| 原子力災害によって失われた地域コミュニティの再構築について研究する。 | 海外を含めた、異文化の方々に向けた情報発信やコミュニケーションの有効な方策を研究する。 | 福島の現状を踏まえた、望ましい人間社会と、地球環境やエネルギーの関係性について研究する。 | 福島の復興につなげる、今後の農業とビジネスを研究する。 | 福島の地域を、スポーツを通じて豊かにする方策を研究する。 | 福島の地域において、少子高齢化が加速する中での健康長寿の実現の方策を研究する。 |

生徒たちの実践例

原子力防災探究班



廃炉実行主体や専門家と住民が対話を重ね、社会的な合意を形成しながら廃炉を進めていくことを目指し、「高校生と考える廃炉座談会」を主催。

メディア・コミュニケーション探究班



全国の高校生や地域住民の声を100件以上集積し、立場による意識の違いを分析しつつ、震災と原発事故について伝え続けていく有効な手段を探究し実践。

再生可能エネルギー探究班



再エネによる町作りを想定し、省エネハウス内への小水力発電水車の設置などにより、発電量が使用量を上回るプラスエネルギーハウスの実現を目指して探究。



ふたば未来学園高等学校所在地

住所：広野町大字下浅見川字築地12
アクセス：

- 電車 いわき駅～広野駅約22分
常磐線広野駅下車徒歩3分
- 車 いわき駅より国道6号約40分

※ お車でお越しの際は、校舎南側の入り口より進入し、グラウンドに駐車してください。